

協賛展 五藤武史写真展「和泉葛城山のオトシブミ」

会場：貝塚市立自然遊学館多目的室

期間：2010年9月4日～23日



五藤武史氏プロフィール

1951年、高石市生まれ。2003年まで小学校の教壇に立つ。

10年程前に、蕎原で、ヒゲナガオトシブミの揺籃を採集。羽化したが、羽化に気付かないで、成虫を腐敗させてしまう。翌年、同じ場所で揺籃を採集。羽化に成功し、標本をつくることができました。2009年からは、ゴマダラオトシブミ、ヒメゴマダラオトシブミ、エゴツルクビオトシブミを飼育。撮影には、双眼実体顕微鏡とコンパクトデジカメを組み合わせた、方法も採り入れた（上ポスター参）。

機材

Nikon D100 + AF ニッコール 70mm-180mm

Nikon ファーブル 20× + CASIO EXILIM 10.1 MEGA PIXELS

展示および寄贈写真目録

- イタヤハマキチョッキリ 2010年5月 和泉葛城山山頂にて撮影
イタヤハマキチョッキリ 2010年5月 和泉葛城山山頂にて撮影
イタヤハマキチョッキリ 2010年5月 和泉葛城山山頂にて撮影
イタヤハマキチョッキリ (交尾) 2010年5月 和泉葛城山山頂にて撮影
エゴツルクビオトシブミ 2010年6月 飼育個体を撮影
エゴツルクビオトシブミ 2009年7月 飼育個体を撮影
オトシブミ 2010年6月 和泉葛城山山頂にて撮影
オトシブミ (卵) 2010年7月 飼育卵を撮影
カシルリオトシブミ 2010年5月 飼育個体を撮影
ゴマダラオトシブミ 2010年6月 和泉葛城山山頂付近にて採集した揺籃からの羽化個体を撮影
ヒゲナガオトシブミ 2010年5月 蕎原春日橋付近にて採集した揺籃からの羽化個体を撮影
ヒゲナガオトシブミ 2010年6月 蕎原春日橋付近にて採集した揺籃からの羽化個体を撮影
ヒゲナガオトシブミ (蛹) 2010年6月 蕎原春日橋付近にて採集した揺籃からの蛹化個体を撮影
ヒメコブオトシブミ 2008年7月 蕎原春日橋付近にて採集した揺籃からの羽化中個体を撮影
ヒメコブオトシブミ 2010年6月 蕎原春日橋付近にて撮影
ヒメコブオトシブミ 2010年7月 蕎原春日橋付近にて撮影
ヒメゴマダラオトシブミ 2010年6月 牛滝林道にて採集した揺籃からの羽化個体を撮影
ファウストハマキチョッキリ 2009年6月 和泉葛城山山頂にて採集した個体を撮影

以上の写真 (A3版) はいずれも、五藤武史氏より自然遊学館に寄贈していただきました。

自然遊学館作成ポスター →



和泉葛城山で撮影したオトシブミ類の棲息地について

五藤 武史

10年近く前、貝塚市蕎原でオトシブミ類の揺籃を、いくつか採集しました。飼育方法が解らず、空き缶に腐葉土を入れ飼育しました。羽化に気付かず、羽化した個体を腐敗させてしまいました。翌年、慎重に飼育して、(毎日羽化をチェック) ヒゲナガオトシブミの羽化に成功しました。

和泉葛城山のオトシブミの棲息域を私の撮影地によって、4つに区別しました。それ以外の地域に棲息しないと言う意味ではありません。

- ① 岸和田市牛滝から林道で標高 400m 辺りまで
- ② 貝塚市蕎原から標高 400m 辺りまで
- ③ 岸和田市、貝塚市、の和泉葛城山山頂付近
- ④ その他

カシルリオトシブミ

①②で一般的に観察出来ます。

ヒメコブオトシブミ

①②で一般的に観察出来ます。

ゴマダラオトシブミ

③山頂から展望台に続く遊歩道のクヌギで揺籃をつくるのを、毎年見かけます。揺籃を採集して、羽化させるのも容易です。

ヒメゴマダラオトシブミ

①標高 400m エノキ、ケヤキで毎年揺籃を見かけます。フィルムケースに水を入れ、キャップに穴を開けて、切った枝を刺しておく、脱出まで、植物は、生きてくれます。

オトシブミ

③山頂付近でよく見かけます。今年(2011年)は、山頂から牛滝側に降りたロータリー付近で、6月末にたくさんの揺籃を採集しました。7月11日に、♀が1個体脱出しました。

エゴツルクビオトシブミ

③山頂手前ロータリー付近から、北にエゴノキがあります。特に、遊歩道入口付近のエゴノキには、たくさんの揺籃があります。花の咲く7月初めが、観察しやすいです。

ヒゲナガオトシブミ

②貝塚市蕎原。林道に入ると、春日橋で、右東手川、左本谷林道の分岐。左にとり、先の登山道Aコース入口を本谷林道に直進。左側に崖の辺りで採集可能。5月の連休明けが、チャンスです。

イタヤハマキチョッキリ

③山頂トイレのすぐ北側の木（ウリハダカエデ）にいます。私自身、飼育、羽化の記録はありません。

ファウストハマキチョッキリ

③山頂トイレのすぐ北側（ウリハダカエデ）の木にいます。私自身、飼育、羽化の記録はありません。

ハイイロチョッキリ

④貝塚市蕎原から馬場にぬける道路沿いのコナラの果実に産卵し、枝ごと切り落とします。8月末に成虫を多く採集、撮影しました。